



# 立田八開学校統廃合は白紙にし市全体で

吉川 三津子議員

1年で子ども100人減少は注視すべき  
教育長

小学校の児童数

現在	6年後の予測 (1年生)							
	合計	1	2	3	4	5	6	
永和小	355	243	36	44	44	38	44	37
市江小	223	174	26	23	28	31	35	31
佐屋小	569	520	55	85	92	98	86	104
佐屋西	241	212	31	34	33	42	40	32
立南小	147	97	12	14	17	22	10	22
立北小	145	109	7	19	19	17	23	24
八輪小	101	95	10	15	23	15	13	19
開治小	77	71	4	12	11	8	14	22
北河田	319	251	30	40	41	50	44	46
勝幡小	217	170	21	31	29	30	36	23
草平小	278	208	29	26	35	37	33	48
西川端	220	210	28	44	35	36	36	31
計	2892	2360						

中学校の生徒数

現在	10年後の予測	
	現在	↓
永和中	225	126
佐屋中	530	485
立田中	184	108
八開中	97	84
佐織中	290	230
佐織西	285	212
計	1611	1245

1学年が1クラスの恐れ

▲小中学校別の児童・生徒数予測(6年後・10年後)

みんなで話し合い、よい教育現場を作っていくか、そのツケを背負うのは子どもたちだ。八開・立田統廃合後に、地域に取り組むとも説明を受けてきたが、この方針は変わらないのか。今の状況は、子どもたちにとってよい状況なのか。一旦白紙に戻し、子どもの教育を一番に考え、特に大人になる過渡期にいる中学生の教育環境を確保し

**問** 9年前、児童予測人数を示し、開治小で入学児童がかなり減ることを取りあげた。左表は、最新の予測データであり、厳しいのは立田・八開地区だけではない。永和中も1学年1クラスに近い状況だ。

**答** この減少への認識は。引き続き減少が予測される。特に中学校が過小規模校となり、学校生活・部活、教員配置での悪影響が懸念され、改善に

向け取り組みが必要だ。

**問** 中学生は、親から先生や友人を頼るようになり、大勢の友人の中から親友を探し出し、大人へのプロセスを踏んでいく。また、中学が1学年1学級だとすると、たとえば国語の先生は3学年の国語を受け持つことになり、授業やテストなどの準備をし、部活をし、教員にかなりの負担となっている。

このままで十分な教育を提供できるか心配だ。市の認識は。

**答** 中学校の少人数クラスでは、人間関係が固定化し、コミュニケーション能力が育ちにくく、教職員数が少ないと、経験、教科、特性を生かした教員配置が行いにくくなる。

**問** 6年前、八開庁舎で適正規模地域懇談会に参加し、今決まっても建設が始まるのに5年必要と説明もあった。

ながら、市全体の方針を協議すべきでは。

**答** 適正規模・適正配置は、現時点で変えるつもりはないが、令和元年度と2年度比較で、100人ほど減少していることは、注視せねばならない。

**その他の質問**

- 18歳成人を、消費者被害から守れ
- コロナ自宅療養者に市独自の支援を